

認知症になっても安心して暮らせる地域をめざして

認知症の人やその家族を支える応援団（戸次・吉野版）

2025年には、高齢者の約5人に1人が認知症になると予測されています。誰でもなる可能性がある病気です。認知症になっても、様々な支援を受けながら生活を送られている方がいます。地域にどのような支援があるのかを知っておくことで、本人・家族が望む生活ができるように備えることができます。その一助になればと思い、当圏域の応援団を紹介します。

相談窓口

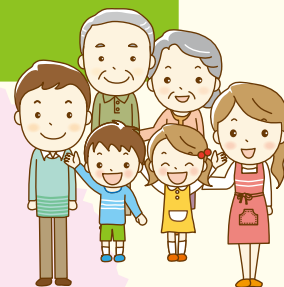
- ◆ 地域包括支援センター
- ◆ 大分市認知症初期集中支援チーム

不安や心配は抱え込まずに相談しましょう。



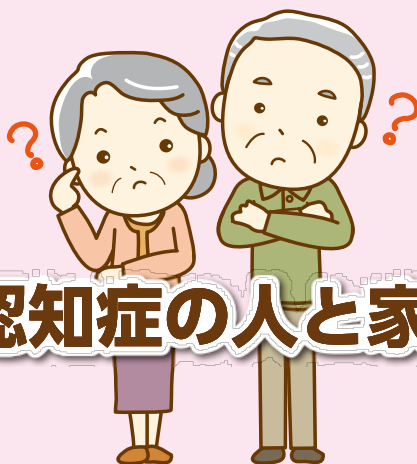
見守り、安心のために

- ◆ 認知症サポーター
- ◆ あんしんみまもりネットワーク
- ◆ オレンジカフェ
- ◆ 認知症の人と家族の会



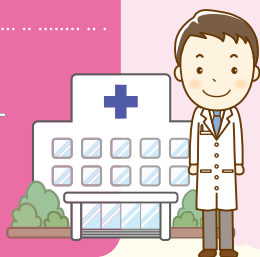
地域には認知症について理解し、支えてくれる方がいます。

認知症の人と家族



認知症対応 医療機関

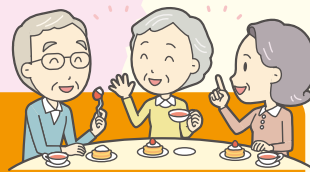
- ◆ 認知症サポート医
- ◆ 大分オレンジドクター
- ◆ 大分県認知症疾患医療センター



早めの受診で、備えと正しい知識をもちましょう。治療で治る病気もあります。

交流の場

- ◆ 地域の集まり
(老人会・サロン・体操教室等)
- ◆ オレンジカフェ（カフェ処よこいよ）
- ◆ 大分市パワーアップ教室
- ◆ 介護保険サービス



馴染みの場所や安心できる人と過ごすことも大切です。